

資料16 路面電車の概要(写真)

■外観



■内観





別大電車のあゆみ

昭和22年	別府大分間鉄道職員を元大分第一等部平塚 治氏が計画	昭和24年7月1日	別府大分電鉄株式会社設立、九州電力電気株式会社より電線事業を分離移譲。
昭和29年8月5日	豊前電気鉄道株式会社を資本金10万円で開催。(大分交通の前身会社) 初代社長に有馬素治氏が就任する。	昭和49年5月1日	別府線(別府-津久井)延伸、別府駅前広場完成。営業を始める。
昭和33年5月10日	伊予田原(田原)の意向として、別府(宇都宮町)〜大分(宇都宮町)間7.7キロの営業を始める。	昭和49年7月	盛岡線(別府-盛岡)延伸。
昭和35年4月5日	大分(宇都宮町)〜大分(宇都宮町)間(竹町)延伸。営業を始める。	昭和59年12月1日	境川〜宇都宮(宇都宮町)延伸。営業を始める。
昭和37年1月4日	豊前電気鉄道株式会社を設立、豊前電気鉄道株式会社を継承する。	昭和79年3月3日	豊前線(別府-豊前)延伸。営業を始める。
大正5年4月1日	九州電力電気株式会社を設立、豊前電気鉄道株式会社を合併する。	昭和20年4月20日	別府大分電鉄株式会社を母体として、別府大分間(別府-大分)延伸。大分交通株式会社として発足。
大正6年7月7日	大分市南幹線(竹町)〜大分市南幹線(外宿)延伸。営業を始める。	昭和47年4月5日	別府大分間(別府-大分)延伸。大分市南幹線(別府-大分)延伸。72年間の歴史の節目となる。バス事業を中心とする新しい交通時代の時代を迎える。
大正8年2月24日	大分市南幹線(外宿)〜大分市南幹線(大分駅前)延伸。営業を始める。	昭和47年6月16日	別大電車車両を大分市に2両、別府市に1両を展示する。
大正10年4月1日	大分市南幹線(大分駅前)〜大分市南幹線(新川)延伸。営業を始める。	平成8年11月5日	大分市南幹線(別府-大分)延伸。大分市南幹線(別府-大分)延伸。現在地に展示する。
大正11年3月7日	大分市南幹線(新川)〜大分市南幹線(かんたん)の新線に軌道を敷設し、営業を始める。		
大正11年11月25日	志保町(志保)から海津線(新設)に軌道を移設し、同時に別府(別府)延伸。営業を始める。		

大分交通株式会社

■諸元等(銘板)

